

第7回 ゆかいな仲間の

たのしい音楽会



2021.6.25(金)
スタジオ・エンザ

プログラム

1. 演奏曲名 アラビア風奇想曲

作曲者 F. タルレガ

演奏者 丸 山 登

「現代ギター音楽の父」といわれるタルレガが、1888年に作曲した彼の代表曲の一つです。

スペインの国民楽派の巨匠トマス・ブレトンに贈られたもので、ムーア風（北西アフリカのイスラム教徒の文化）の甘美なメロディーとアンダルシアのリズムの調和した傑作で「アルハンブラの思い出」と同様にリサイタルで演奏されることが多い。

2. 演奏曲名 マリア・エレナ

作曲者 ロレンソ・バルセラータ

演奏者 横 山 晶 子



この曲は、メキシコの作曲家であるロレンソ・バルセラータが1936年に作詞・作曲した歌曲です。

メキシコ大統領ポルテス・ギルの夫人マリア・エレナに捧げられ、同名のメキシコ映画にも使用されました。

1958年、甘いトーンのギターサウンドで一世を風靡したブラジルのロス・インディオス・タバハラスが演奏して脚光を浴び、1962年の全米トップチャート入りを果たした名曲です。

3. 演奏曲名 小さなロマンス
作曲者 L. Walker
演奏者 福 崎 實

この曲は馴染みやすいので選びました。

作曲者のL.Walker（1910～1998）は、世界三大女流ギターリストの一人で、この曲は練習用として作曲されたとのこと。

演奏のポイントは、第1部は低音のメロディーで重厚に演奏、第2部は生き生きとリズムカルに演奏、第3部はアルペジオでロマンチックに演奏、・・・とのことですが難しいですね。



4. 演奏曲名 夜想曲
作曲者 C. ヘンツェ
演奏者 幸 田 吉 史

短いですが変化があり、好きな曲です。

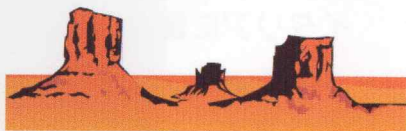
★ ヘンツェの夜想曲（ノクターン）は、クラシックギターのシンプルで美しい定番曲と云われ、誰もが弾いてみる曲の一つになっています。

ドイツの作曲家でありギターリストであったヘンツェは、一時はケルン音楽大学で客員教授として現代音楽劇などを教えていたこともあり、教育的な小品を多数残している。

5. 演奏曲名 **夢路より**
作曲者 **フォスター (1826 ~ 1864)**
演奏者 **草 野 文 喜**

アメリカの古き良き時代?の美しいメロディーだと思います。
しかし、今ではほとんどのアメリカ人が「フォスター」の名前
を知らないようです。

日本の今の若い人たちの音楽も、アメリカナイズされた音楽で、
私には良く聞こえません。・・・年寄りの「ぐち」です…。



6. 演奏曲名 **エレーゼのために**
作曲者 **L. ベートーベン**
演奏者 **山 本 周 治**

有名なピアノ曲です。後半が難しいので練習に時間をかけま
した。ギター曲として素晴らしいのは、作曲がベートーベンだか
らでしょう。易しそうで難しい曲でした。

★ 元々は「テレーゼ」という曲名だったようで、恋人のテレー
ゼのために書いた曲というのが有力説。

メロディーはポピュラーやジャズなど多くの音楽にアレンジ
されています。

ザ・ピーナッツの「情熱の花」、ザ・ヴィーナスの「キッス
は目にして」、サラ・ヴォーンの「愛のコンチェルト」など。



SPECIAL PRESENT

演奏曲名 ホ調のミヌエット

作曲者 武井守成（たけい もりしげ）

演奏者 佐藤茂勝 先生

ちょうど100年前の日本、1921年に作曲された曲です。
イタリアに留学していた武井守成ですから、イタリア語の
「minuetto」からの読みで「ミヌエット」と題されている
ようです。

今でいうところの「メヌエット」、ホ長調の曲になります。



今回もありがとうございました。



夢弦の会 金曜教室